



増税と私達の生活の関わり

大田区立大森第六中学校 三年 守田 祥菜

私には八歳の弟がいる。八歳は一人で留守番させておくにはまだ怖い。そのため、弟が一人になってしまう時は児童館に行かせるようにしている。児童館は便利だ。児童館に行けば職員の方がいて、本やおもちゃがあり、安心して長時間過ごすことができる。そんな便利な施設を無料で利用できるのは、ここに税金が使われているからである。もちろん税金が使われているのはこれだけではない。私がよく行く図書館や公園などにも使われている。

最近、岸田総理が増税を検討することの大きなニュースとなっている。「退職金増税」や「生命保険控除の見直し」など様々なことを検討している。これに反対している人が多くいるが、私は増税についてはまっさら反対を唱えるつもりはない。

なぜなら、今の税金で賄えない状況になった時にこの世の中がどうなってしまうのかを考えたからだ。

① 道路や橋の場合

道路がもし崩れた時、税で賄えなかったらその道を使う人がお金を出し合って修理しないといけない。また、壊れた橋が放置されてしまった

りするじつてさらなる危険をもたらしてしまう。

② 教育環境の場合

学校の建設や義務教育の間は教科書の無料配布など子供が良い環境で教育を受けられるようになってきている。しかし、もし税で賄えなかったら、教育環境にお金がかかるため、個人負担が多くなってしまう。そうすると貧富の差で学校に通えない子供も生まれてしまうなどの問題が生じてしまう。

増税において一番肝心なのはその「使い道」であると思う。冒頭で例に出した児童館のように本来に必要なものに行き届くのであれば多少の増税もいたしかたないだろう。政府は税金の使い道を公表し、ぜひとも地域にもその恩恵が得られるようにしてほしいと思う。

そして、個々の生活の質向上に直接つながるような税金の使い方であれば、より多くの人達が増税に対して好意的に捉えられるのではないだろうかと思う。

国民全員の誰もが理解できるように、簡単な文章やイラスト等を用いて税金の流れをチラシやテレビで開示してくれるれば納税の重要性を知ることができ豊かな生活を送ることができると思います。